

■一般目標 (GIO)

- 1) 生体を構成する細胞や組織の形態学的、組織学的特徴を理解する。
- 2) 初期発生、顎顔面頭蓋の発生、形態形成、および形成不全(奇形)について理解する。

■到達目標 (SBOs)

- ・組織学がどのような学問であるか説明できる。
- ・細胞、細胞内小器官、細胞骨格について説明できる。
- ・4大組織について説明できる。
- ・皮膚、口腔粘膜、舌について組織学的に説明できる。
- ・消化器・循環器・呼吸器・内分泌器・リンパ性器官などについての概要を組織学的に説明できる。
- ・初期発生について説明できる。
- ・頭頸部領域の発生について説明できる。
- ・顔面および口蓋の形成とその異常について説明できる。
- ・舌の発生について説明できる。

- 教科書：1 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1
解剖学・組織発生学・生理学 第1版(医歯薬出版)
- 2 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能
口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 第1版
(医歯薬出版)

- 参考書：プリントを配布する。

- 授業時間：水曜日 15:00～16:50

- オフィスアワー：難波 祐一 水曜日 14:50～17:00

- 授業の方法：教科書，参考資料，板書，視覚資料を用いた講義を行う。

- 準備学習・ 事前に予習し，理解不十分な点は講義後時間をあけずに解決
準備学習時間：を図ること。

- 成績評価方法：定期試験（100％）で評価する。

- 注意事項：配布したプリント，教科書，ノートは毎回持参すること。

- 実務経験：病院歯科口腔外科臨床，大学院での基礎研究，一般歯科開業医勤務を経て現在は歯科開業医。基礎医学の理論が臨床医学に繋がることをこの講義を通じて理解して頂きたい。

■予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 6月4日 難波祐一	I 組織学 1. 総論 A. 細胞と組織 教①) pp. 14-16	・組織学について理解する。 ・切片標本の作製過程を理解し説明できる。 ・顕微鏡の種類と特徴を知る。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	B. 組織と器官 教①) pp. 22	- 細胞の核，細胞膜，細胞内小器官とその働きについて理解し説明できる。 - 細胞骨格について理解し説明できる。
第3・4回 6月11日 難波祐一	C. 上皮組織 教①) pp. 22-25 D. 腺組織 教①) pp. 89 教①) pp. 227-233 E. 支持組織 教①) pp. 25, 28 結合組織	4大組織：上皮，支持(結合)組織，筋，神経について知る。 - 上皮組織の形態学的分類を知る。 - 腺組織の概念を理解し，外分泌腺と内分泌腺について知る。 - 結合組織の細胞と細胞外基質について理解し説明できる。
第5・6回 6月18日 難波祐一	骨，軟骨，血液 F. 筋組織・神経組織 教①) pp. 28-30	- 骨，軟骨，血液の組織構造と働きを学び，結合組織としての位置づけを理解する。 - 筋，神経の組織構造について理解し説明できる。
第7・8回 6月25日 難波祐一	2. 各論 G. 皮膚と粘膜 教①) pp. 193-198 H. 舌・唾液腺 教①) pp. 88-89 I. 消化器 教①) pp. 88-106 J. 循環器 教①) pp. 109-138	- 皮膚と口腔粘膜の組織構造の差異と口腔粘膜の機能的分類とその分布について理解し説明できる。 - 舌乳頭の種類とその味覚の受容器としての特殊性について理解し説明できる。 3大唾液腺と小唾液腺の特徴について理解する。 - 消化管の基本構造について理解し説明できる。 - 肝臓，脾臓の組織学的特徴や，機能を知る。 - 心臓，血管系組織について理解し説明できる。
第9・10回 7月2日 難波祐一	K. 呼吸器 教①) pp. 171-188 L. 内分泌器 教①) pp. 227-233 M. 泌尿器 教①) pp. 208-216 N. リンパ性器官	- 鼻腔から肺に至る組織学的特徴について理解し説明できる。 - 副鼻腔の位置，役割を知る。 - 内分泌器官と産生ホルモンの働きについて理解し説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	教①) pp. 138-143	・ 腎臓，膀胱，尿管，尿道の組織学的構造について理解し説明できる。 ・ リンパ性器官，特に頭頸部のリンパ組織について理解し説明できる。 ・
第 11・12 回 7 月 9 日 難波祐一	II 発生学 1. 初期発生 教①) pp. 32-43 2. 顎顔面の発生 教②) pp. 2 - 8	・ 受精～着床の流れを知る。 ・ 発生第三週に受精卵は三層性胚盤を形成し，それら胚葉の発生学的運命について理解し説明できる。 ・ 鰓弓の形成と鰓弓由来組織について理解し説明できる。
第 13・14 回 7 月 16 日 難波祐一	3. 顎顔面の発生 (特に口腔領域) ②) pp. 2 - 8 III まとめ	・ 頭部諸骨の発生について理解し説明できる。 ・ 顔面・口蓋の形成の過程と癒合不全による先天異常について理解し説明できる。 ・ 舌，唾液腺の発生について理解し説明できる。 ・ これまでの講義の内容を復習し理解を深める。